

平成29年9月22日

株式会社 三菱UFJフィナンシャルグループ  
コーポレートコミュニケーション部  
宮坂様

350.org Japan  
代表 古野真

## 環境に配慮した投融資方針の策定と地球温暖化対策に関する要請書 「地球にやさしい銀行を選びたい」: My Bank My Future宣言

拝啓 時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。

私ども環境NGOや市民団体は、気候変動に配慮した投融資方針の策定が金融機関の「社会的責任」の一環であると認識しております。2015年12月に195カ国が採択した気候変動枠組条約の「パリ協定」の中には「低炭素発展経路に整合的な資金の流れを構築すべき」という一文が含まれています。パリ協定に定められた目標である地球の平均気温の上昇を産業革命前から1.5℃～2℃に抑えることを遵守するため、欧米では、CO2排出量が最も多い石炭産業などの化石燃料関連企業への投資撤退「ダイベストメント」を表明する大手銀行が相次いでいます。そして、民間銀行が気候変動対応に関する適切な情報開示を実施し、環境に配慮した投融資方針を策定することが企業評価の指標となりつつあります。

そこで、私たちは貴社を含め邦銀に環境に配慮した投融資方針を取り入れることを求める目的で、一般預金者を対象に「My Bank My Future 宣言」の署名活動を行ってきました。同宣言には、1000人以上の預金者の方(想定預金額33億3643万円)が賛同し、署名しました。そのうち預け先の銀行が判明している賛同者の約3割(142名)が三菱東京UFJ銀行のお客様です。

つきましては、「地球にやさしい銀行を選びたい」1000人以上の賛同署名を添えて、下記の事項につきまして、要望いたします。

- 1.化石燃料及び原発関連企業と事業を含むESGリスクが高い分野への投融・融資の規模・資産額を開示すること。
2. 地球の気温上昇を1.5～2度未満に抑えることを目標に、科学的な知見と整合した投資・融資方針を策定し、投資・融資先企業における温室効果ガス排出量削減目標を達成するまでのロードマップを明確にし、その実行を宣言すること。
3. 2020年までに国内外の化石燃料および原子力発電事業への新たな投資・融資を凍結し、それらの投資・融資を再生可能エネルギー及び省エネ事業や社会貢献に積極的な企業へと移行すること。

これらの3点の要請に対する貴社の方針についてご回答いただきたく、お願い申し上げます。ご回答は2017年10月6日までにお願い致します。

パリ協定に整合した銀行業務を求める消費者に適切な情報を提供できるように、貴社から公開可能かつ納得のいく回答を求めます。My Bank My Future キャンペーンを通して、私たちは引き続き一般消費者向けに環境に配慮した銀行選びを促す活動を展開していきます。

なお、署名一式ならびに小職名刺を同封させていただきますので、お目を通していただければ幸いです。まずはご挨拶かたがたお願い申し上げます。

敬具  
350.org Japan  
代表 古野真  
東京都千代田区一番町9-7  
一番町村上ビル6F  
TEL: 03-3230-7600  
Email: [shin@350.org](mailto:shin@350.org)

【賛同団体】

1. 350.ORG Japan
2. 認定NPO法人気候ネットワーク
3. レインフォレスト・アクション・ネットワーク

【送付資料】

【資料1】三菱東京UFJ銀行に口座持つ賛同者 142名

【資料2】その他の銀行に口座持つ賛同者 865名